

# いんぽかん かわのえ隣保館だより

ねん がつはっこうごう  
2021年6月発行号



## ストップ コロナ差別

新型コロナウイルス感染症の感染が広がり、いつ、だれが感染してもおかしくない状況です。そして、多くの医療関係者などのエッセンシャルワーカーと呼ばれる、私たちの生活を支えてくださる人たちが、毎日、頑張ってくれています。

このような状況の中で私たちにできることは、「一人ひとりが感染しないように、行動する。」ということです。そして、何よりも大切なことは、もし感染してしまっても誰も悪くないということです。

『一番つらい思いをするのは誰でしょうか?』

相手を思いやる心を私たちは人権・同和教育の学びをとおして、育んできました。コロナ患者、その家族や企業への差別的な言動は、後を絶ちませんが、決して許されない、恥ずかしい行為です。

みんなで差別しない、させない社会にしましょう。



かんちょう やました こうじ  
館長 山下 宏二

かわのえいんぽかん  
川之江隣保館  
TEL:0896-28-6254  
FAX:0896-28-6254



## 6月 かわのえいんぽかん ぎょうじよてい 行事予定

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、予定が変更されることがあります。

日(にちようび)	月(げつようび)	火(かようび)	水(すいようび)	木(もくようび)	金(きんようび)	土(どようび)
		1 たいきょけん ・太極拳	2 ちょきんたいそう ・貯筋体操(スイートピー)	3 ちょきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり)	4 ・キャンサーサロン桜	5 ・キッズプラス
6	7 ちょきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり) けんこうたいそう やまねかい ・健康体操(山根会)	8 たいきょけん ・太極拳	9 ちょきんたいそう ・貯筋体操(スイートピー)	10 ちょきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり)	11 ・キャンサーサロン桜	12 休日開館 しきじがっきゅう ・識字学級 たつきゅう ・卓球クラブ ・キッズプラス
13	14 ちょきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり) けんこうたいそう やまねかい ・健康体操(山根会)	15 たいきょけん ・太極拳	16 ちょきんたいそう ・貯筋体操(スイートピー)	17 ちょきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり)	18 しよくほうそうだん ・職業相談 ・キャンサーサロン桜	19 休日開館 ・キッズプラス
20	21 ちょきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり) けんこうたいそう やまねかい ・健康体操(山根会)	22 たいきょけん ・太極拳	23 ちょきんたいそう ・貯筋体操(スイートピー)	24 ちょきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり)	25 ・キャンサーサロン桜	26 休日開館日 たつきゅう ・卓球クラブ ・キッズプラス
27 休日開館日 しきじがっきゅう ・識字学級 せいめいそんちようどくしょかい ・生命尊重読書会 ・キッズプラス	28 ちょきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり) けんこうたいそう やまねかい ・健康体操(山根会)	29 たいきょけん ・太極拳	30	7/1	7/2	7/3

# じんけん どうわきょういく せいかつ なか 人権・同和教育は生活の中にある

『市民一人ひとりが人権教育の心を育てるための5つの目標』を知っていますか？  
四国中央市及び四国中央市人権教育協議会では、人権教育を心の教育と捉え、市民一人ひとりが身近に取り組みめる目標として「心を育てるための5つの目標」を掲げ学校教育・社会教育・家庭教育において取り組んでいます。

## 5つの目標

1. 気持ちの良いあいさつができる人に
2. はきものを脱いだらそろえる人に
3. 人に呼ばれたら「はい」と気持ちのよい返事ができる 人に
4. 人の話が聴ける人に
5. 自分の意見を相手に伝えることのできる人に

どれも「当たり前のこと」と思われる方が多いと思いますが、自分自身がこの5つの項目ができていないかを考えてみてください。

家族の中から気持ちの良いあいさつはできていますか、また「はい」の返事はできていますか。この2つは人間関係を作るうえで最も大切なことです。また自分自身はできているかという行動の振り返りは、「はきものを脱いだらそろえる」という、自らを振り返る行動とつながります。

私は、生活の中でも仕事の中でも「人の話が聴ける人に」「自分の意見を相手に伝えることのできる人に」を大切にしています。

同じ物事を見ても、見る人の性別や職業、年齢や家族構成などによっては、見え方、感じ方が違うことは当然です。一人ひとりが相手の想いを聴き、自分の想いを伝えることが、お互いを知ることになり、人間関係ができていくのだと思います。

川の江隣保館は多くの皆さんに利用していただくことで交流の場となっています。そこには100人いれば100の想いがあり、似ていても全く同じものはありません。また、皆さんが想いを伝えあうことはあっても、自分の想いを押し付けることはありません。

この笑顔あふれる光景が、生活の中にある人権・同和教育だと感じています。

この5つの目標は、一つ一つに意味がありますが、難しく考えるのではなく私たちの生活に浸透していくものだと思います。私たち一人ひとりが意識することなくこの目標にあるようなことが、できるようになったときには、差別のない明るい社会になっているのではないかと考えます。

川の江隣保館では、これからも誰もが幸せになるための「人権・同和教育」を推進するとともに、部落差別の解消に努めていきます。

川の江隣保館主事 藤田 啓介

## 5つの目標 市民一人ひとりが人権教育の心を育てるために

1. 気持ちの良いあいさつができる人に  
効果 自他のいのちを尊重する気持ちが生まれ、明るく前向きな気持ちになります。
2. はきものを脱いだらそろえる人に  
効果 行動をふり返り、自分を大切にすることが育ちます。
3. 人に呼ばれたら「はい」と気持ちのよい返事ができる人に  
効果 素直な気持ちになり、快い人間関係が生まれます。
4. 人の話が聴ける人に  
効果 相手を受け入れようとする広い人間性が育ちます。
5. 自分の意見を相手に伝えることのできる人に  
効果 自分を聞き、お互いの人間関係が深まります。

四国中央市 四国中央市人権教育協議会

## 悩んでいることはありませんか？

隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」「職場や学校に行けない」など何でも相談してください。

なお、毎月20日は、ハローワークの巡回相談（職業相談）を行っていますが、当分の間、新型コロナウイルス感染症の対策として、電話による予約制といたします。

川の江隣保館

TEL・FAX 28-6254